

## 自然エネルギー利用を根づかせたい！



### 第2期ひらかた自然エネルギー学校 開講

ごみエネルギー部会では、昨年に引き続き、「第2期ひらかた自然エネルギー学校 (RESH)」を9月9日、ラポールひらかたで開講しました。

来年2月3日までの全7回講座で、第1回講座は、受講生・スタッフあわせて21名でのスタートとなりました。家庭や地域での実践を目指し、自然エネルギーの利用と普及方法について学びます。地球温暖化が進む中、環境問題に関心のある市民が、何か行動に移す第一歩になればと、受講生・スタッフ共に力が入ります。

(2ページに関連記事)

### 目次

自然エネルギー学校開講	2
市長との懇談会	3
各部会 & 運営委員会の活動	4
秋のイベントカレンダー	6
お知らせコーナー	7
団体紹介 (枚方なぎさ高校)	8

# キーワードは「体験・創造・実践」

## RESH ごみ・エネルギー部会

今年もいよいよ「ひらかた自然エネルギー学校(RESH)」が開講しました。昨年より開催されているこの講座は、地球温暖化防止を目的に、多くの市民に自然エネルギーの利用と普及について考えてもらい、家庭や地域で自然エネルギーを普及させるための人材育成とそのネットワーク作りを目指します。



和田教授の講義に聞き入る受講生

講師には立命館大学の和田武教授、司電機産業(株)の三好國司社長(株)エイワツトの柴田政

明社長、関西雨水市民の会の水野育成会長、滋賀県立大学の野間直彦講師、大阪ガス(株)の濱恵介研究主幹など、関西一円から各分野のエキスパートをお迎えし、「体験・創造・実践」をキーワードにワークショップや見学を取り入れた充実のプログラムとなっています。

第1回講座「自然エネルギーとは」では、自然エネルギーの普及には市民参加・地域主導が必須だという和田教授のお話に、受講生は「貴重な講義を受講できた」と声を揃えています。

今後は、「太陽光発電」、「市内自然エネルギー探索」、「風力発電・小水力発電」、「雨水利用」、「バイオマス利用」、「自然エネルギーとエコ住宅、住まい方」について、来年2月3日(土)まで学びます。

枚二小では月曜日の6時限目をクラブ活動の時間として、4年生から6年生の児童全員が12のクラブのいずれかに入って活動しています。

今年度からは「エコクラブ」を立ち上げて21人の児童(4年生15人、5年生5人、6年生1人)が環境問題に取り組みしており、環境教育サポート部会では、指導の先生をサポートするために数人のメンバーが毎週児童たちと楽しく過ごしています。



イチヨウを「私の木」に決めて、年間の移り変わりを調べるため、葉をスケッチしました

1学期は、もつとも身近な環境に目を向けようと、「校内環境マップを作るう」、2学期は、普段な

にげなく使っている電気やガスが環境にどのような負荷をかけているかを知ろうと、「エネルギーを考えよう」、3学期は、今もつとも深刻な問題とされている地球温暖化について、児童なりの認識を持つと、「地球温暖化を考えよう」。これらの大きなテーマを、1年間を通して勉強しようと頑張っています。

## 環境教育サポート部会

# 枚二小のエコクラブをサポート

## 市長との懇談会

### - 「行政との協働」重要性を再確認 -

運営委員会は、8月28日(月)午後4時から市長応接室において、中司宏枚方市長との懇談会を行いました。参加者は谷崎理事長を始めとした9名で、各部会からの活動報告のひとつひとつに対して市長と意見交流がなされ、活気ある懇談会となりました。

主な内容は、今ネットワーク会議が取り組んでいる様々な活動の事業化の早期実現、これからもっと活発になるであろう校区コミュニティ協議会の活動にネットワーク会議がどう関わっていくか、など。これらをネットワーク会議が取り組むにあたって、行政との



協働をより一層深めることが大事であることを再確認し、閉会となりました。

## ひらかた灯路

### - 竹ろうそくの灯にCO<sub>2</sub>削減の想いを込めて -

7月21日(金)、6月に雨のため中止となった「ひらかた灯路」を枚方市主催で行いました。当初予定していたキャンドルコンサートは開催されませんでした。岡本町公園～歴史街道～御茶屋御殿が竹ろうそくでライトアップされ、道行く方々は足を止めてその幽玄な灯りに見入っていました。



岡本町公園をライトアップする竹ろうそくに足を止める人々

ろうそく作りやその他準備、当日の警備等にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

## ライトダウン川柳

### - 優秀作品を“ショートコント”で発表 -

6月17日(土)のライトダウンキャンペーンで募集した「ライトダウン川柳」に150件を超えるご応募をいただきました。

「ぷっ！」と笑えるものや「おお～！」と感嘆するものなど力作揃いでした。優秀作品は10月22日(日)に開催される「NPOフェスタ2006」の野外ステージにおいて、ネットワーク会議会員による“ショートコント”で発表する予定です。皆様、ぜひ観にきてください。

#### 優秀賞

「節電を 未来のために がんばるぞ」  
辻芽生ちゃん 小学6年生

#### 佳作

「うつくしく ところがひかる くらいよる」  
谷本好汰くん 小学1年生

「くらがりで しっぽふまれた 猫あわれ」  
谷本好史さん 一般

「女房も 意外といけてる 星明かり」  
渡木龍司さん 一般

## 天の川七夕フェスタ 2006

### - 会員同士・他団体との交流深まる -

7月28日(金)・29日(土)「天の川七夕フェスタ 2006」に参加し、“織姫・彦星ゾーン”である岡東中央公園の「NPOの店」内に出店しました。

周りではコンサートやケイ・キャットの生放送が行われ、会場の各所に「ペットボトルオブジェ」が置かれるなど、様々なイベントが行われる中、長時間の出店となりましたが、有志でご参加いただいた会員の方々が交代で店番をしてくださり、無事終えることができました。

これまでお互い知らなかった会員同士や他の団体の方々と交流が深まるよい機会となりました。



## ●各部会の活動

### 自然環境部会



#### 枚方市内の「ほっとする空間」

このコーナーで何度かご紹介しているサダ東小学校の学校林。枚方市内にはこういった“市街地緑地”がたくさんあります。今回は私たち自然環境部会が今年の「エコフェア 2005」で行った「私のお奨め市街地緑地スポット」のアンケート調査から、人気のあった2箇所をお教えしましょう。

1つは皆さん良くご存知の「山田池公園」です。そして忘れてはいけないのはやっぱりここ！枚方八景のひとつ「香里団地のケヤキ通り」です。

さてこのほかにも市内各所に「ああ、ここのこの空間ほっとするわ」と思う自然ってありますよね。そんな空間を守るために、さあ出来る事から始めてみませんか？

### ごみ・エネルギー部会



#### 会員の皆さんの参加をお待ちします！

ひらかた自然エネルギー学校（RESH）運営WG：“第2期 RESH が9月に開講しました”本年度も自然エネルギーに関心の深い受講生を迎え、運営スタッフと共に学び、家庭や地域での実践を考える7回連続講座がスタートしました。第1回講座では「自然エネルギーとは」と題して、立命館大学和田教授から「地球温暖化問題と自然エネルギー」～「世界・日本の自然エネルギー普及と市民の取り組み」など豊富な写真、図表を交えての講義および市環境総務課園田 GL の講義を受け、今後半年間同じ思いで時間を共有できる喜びを新たにしました。また「市民共同発電所プロジェクト：ひらかた・おひさま発電所」も同スタッフ及び昨年度 RESH 修了生を中心に計画を鋭意推進中です。

生ごみ資源化WG：「地産地消プロジェクト：自然農法による食の市内循環モデル構築」の中で「生ごみの堆肥化」を担当し、様々な角度から検討を重ねています。

雨水モニターWG：府事業「おおさかレインボウぶろじゅくと！」の雨水モニターとして、雨水利用の普及活動をしています。HP 上で、雨水タンクなど設備の設置に関する情報提供を行う計画も進行中。

### 公共交通部会



#### - 牧野駅 - レンタサイクル試行へ！！

レンタサイクル：昨年行った「牧野レンタサイクル実験」の経験を生かし、この11月から1年間、牧野駅において、レンタサイクルの試行を行います。この結果をもとに、各駅での本格実施を目指します。

「くずは・男山バスタウンマップ」：第2弾（史跡編）第3弾（お店編）を制作します。10月29日（日）には「こんなマップ、あったらいいな」ワークショップ、また11月12日（日）には、完成イベント「バス！のってゲームラリー」を行います。（写真は3月26日のイベント時、松村先生の「バスとまちのお話」）



## まちづくり部会



## ～美しい「ひらかた」を次世代へ～ 天の川大清掃に参加します！

ひらかた灯路：当初予定していた6月17日（土）は天候不良で中止となりましたが、7月21日（金）に実施することができました。夕闇から夜にかけて口ウソクの灯りが映えて幻想的なひと時を演出することができました。事前のPRもできませんでしたが、ご近所の方々をはじめ大勢の皆様に鑑賞していただきました。

第5回天の川大清掃：11月11日（土）午前、恒例になりました第5回天の川大清掃が実施されます。ネットワーク会議は実行委員会メンバーとして実施計画の段階から積極的に参画しています。詳細な計画が決まりましたら会員の皆様にお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

## 環境教育サポート部会



## 招提中で環境講演会を実施。学校・家庭・地域に視点をおく

9月9日（土）総合的な学習の時間におけるNPOなどの外部人材活用に関する文部科学省の研究指定校である招提中の行事の一環として、当部会の中前孝雄さんが校長先生をはじめ先生方、PTAの方々および生徒さんを対象に環境講演会を実施されました。

演題は、「地球環境問題と学校、家庭、地域でできること」。地球温暖化のしくみの説明や、私たちが身近に取り組めることについて話されました。私たちが身近に取り組めること具体例については、学校でできることとして今年度から枚方市内の学校園でスタートした学校版環境マネジメントシステムである「S-EMS」、家庭における実践として「ひらかた環境家計簿」、地域での活動として当部会が10月から開講する「ひらかた環境くらわんか塾」を紹介されました。

## 運営委員会



## 来年2月開催「ひらかたエコフォーラム2007」プロジェクトチーム発足

広く枚方市民の環境意識の啓発・啓蒙を図るため、例年11月には「ひらかたエコフェア」が開催され、過去7回実施されてきました。昨年は「ストップ・ザ・温暖化」にテーマを絞り、参加型展示にも注力した結果、約1万7,000名が参加し、「ひらかたエコフェア」はそれなりに評価を得ていますが、反面イベントそのもののマンネリ化が指摘されています。枚方市の今後の環境イベントのあり方につき、行政とネットワーク会議で検討を重ねた結果、今後は一般市民の環境への関心高揚を狙いつつも、環境保全活動に直接関わっている市民・団体に特化したイベントに衣替えする事になりました。名称も「ひらかたエコフォーラム」と改称し、第一回の「ひらかたエコフォーラム2007」を来年2月3日（土）に「メセナひらかた」で開催します。

イベント内容は、枚方市の「環境基本計画」とも連携した枚方市における環境保全活動の発表、評価、相互啓発の場にしたいと考えています。その準備に向けてネットワーク会議内に、「エコフォーラムプロジェクトチーム（PT）」を発足させました。今後はこのPTが中心となり、枚方市環境総務課とも連携をとりながら「ひらかたエコフォーラム」の開催・運営を図ってまいります。

# NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議 秋のイベントスケジュール

## 10 月

- 14(土) 自然エネルギー学校 第2回講座
- 22(日) NPOフェスタ2006
- 28(土) 自然エネルギー学校 第3回講座
- 28(土) くらわんか塾 第1回講座
- 29(日) 「バスタウンマップ」ワークショップ

## 11 月

- 11(土) 自然エネルギー学校 第4回講座
- 11(土) 第5回天の川大清掃
- 12(日) バス!のってゲームラリー
- 14(火) 貸し自転車「ひらリン」試行開始
- 18(土) くらわんか塾 第2回講座
- 25(土) くらわんか塾 第3回講座

## 12 月

- 2(土) 自然エネルギー学校 第5回講座
- 2(土) くらわんか塾 第4回講座
- 7(木) 枚方なぎさ高校出前授業
- 12(火) くらわんか塾 第5回講座

### ひらかたNPOフェスタ2006

今年も参加します!「チャレンジスペース」では展示・模擬店を、その他「野外ステージ」でショートコントも発表します。乞うご期待!!

模擬店【オイシイ!穂谷の無農薬野菜と焼き鳥の店】  
野外ステージ【灯消して心灯す?!ライトダウン川柳でショー】

日時:10月22日(日)午前10時~午後4時  
場所:サプリ村野(旧村野小学校)

### 貸し自転車「ひらリン」でエコサイクル

「ひらリン」ってなに?それは枚方市のレンタサイクル(貸し自転車)のこと。まず初めの第一歩として牧野で「ひらリン」の試行を開始します!

試行期間:平成18年11月14日(火)  
~平成19年11月13日(火)

貸出返却時間帯:午前6時~午後9時

貸出返却場所:市立牧野東自転車駐車場

料 金:1回200円(翌朝10時まで)

貸出自転車は放置自転車を  
枚方エコサイクルがリサイ  
クル(20~26インチ)



ご興味のあるイベントの詳細等は、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までお問い合わせ下さい。

## 枚方地産地消プロジェクト発足「無農薬野菜で地産地消を」

運営委員会では枚方市における地産地消を実現する為、「枚方地産地消プロジェクトチーム」を発足しました。“地産地消”とは、「地元の消費者ニーズに即応した農業生産を行い、生産された農産物を地元で消費しよう」とする取り組みです。ネットワーク会議では、その消費者ニーズを無農薬野菜と捉え、まずは母体となる自然農法栽培実施者を養成するために「枚方自然農法塾」を開講しました。

本塾は10回講座で、(財)自然農法国際研究開発センターから講師の方をお呼びして、座学と野菜作りの実体験を枚方市東部の穂谷区を中心に行うものです。7月から始まり、早ければ11月には最初の収穫が出来る見通しで、PRのため各種イベントで販売する予定です。

今後は生ごみの堆肥化、自然農法塾野菜の頒布チームを立ち上げます。興味のある方はご参加ください。

「EMほかし」を撒く  
自然農法塾の塾生



# イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。  
072・847・2286

## 第5回天の川大清掃 参加者募集！！

平成14年度に市制55周年事業として開始された「天の川大清掃」も今年で5回目となりました。小学生から大人まで、誰でも参加できます。天の川流域の一斉清掃にご協力いただける方はひらかた環境ネットワーク会議事務局までお申し込み下さい。集合場所等、詳細はお申し込み受付の際にお知らせします。

\*\*\*\*\*

実施日：11月11日（土） 雨天中止  
時間：9時45分受付開始 / 10時開式  
主催：天の川再生実行委員会

## ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局までお申し込みください。

## 「環境のへえ〜」 Vol.10

### 『割り箸の行方』

仕組みの変質

割り箸は、もともと間伐材、端材を有効に活用する「廃物利用」であり「森を守る仕組み」でもあったが、利便性が注目され「大量」かつ「安価」な割り箸のニーズが高まり、急速に普及した結果、国産から中国産の輸入へとシフト。中国では、間伐材の有効利用ではなく割り箸生産のために木を伐採（材料は一応、建材には不向きなシラカバ類）。便利さを求めた結果、「森を守る仕組み」から使い捨てのために「森を破壊する仕組み」へと変質してしまった。

日本での対応状況

国産へのシフトは可能か？現状では年間消費量248億膳を供給するだけの生産力、原材料が無く、中国産の価格で供給することは困難。年間2億膳を無料配布するコンビニでは有料化の試行も…消費者が自らの力を自覚して行動していくことが重要。

< 30秒で読む環境情報！ >

割り箸廃止論には賛否両論があります。それを承知の上で、「ものを大切に使う」という観点から“使わなくて済む時は使わない”という姿勢も大切ではないでしょうか。

## 平成18年度 ひらかた環境くらわんか塾 受講生募集！！

～ 学校版EMSの審査に同行しよう ～

枚方市では今年度より学校版環境マネジメントシステム（S-EMS）を導入しました。

『ひらかた環境くらわんか塾』講座は、S-EMSによる環境教育活動をサポートできる「環境教育サポーター」を育成します。

講座終了後、環境教育サポーターは市域の学校園のS-EMS審査に同行し、地域や学校園などの環境教育活動のサポート役として活躍することが望まれています。

講座日程：平成18年10月28日～平成19年2月3日  
全8回（月1～2回）

会場：メセナひらかた他

募集人数：30名程度

受講料：2,000円（全8回分）

募集対象：地域や学校で環境教育や環境保全活動をしている（していこうと考えている）方

その他：講座を終了された方には「環境教育サポーター」証を発行いたします。

講座日程など詳細・お申し込み等は、事務局までお問い合わせ下さい。

会員数181名：正会員 148名（個人121、非営利団体19、営利団体8）

賛助会員 33名（個人32、非営利団体0、営利団体1）

平成18年10月1日現在

創立：2004年 学校長：川畑 史朗  
<http://www.osaka-c.ed.jp/hirakatanagisa/>

## 「環境委員会」「学校版 E M S」をメインに環境教育を推進

### 『紙、ごみ、電気の節約と水を大切に』

枚方なぎさ高校は、府立学校の改変統合により3年前に磯島高校の地に誕生した普通科総合選択制の新設校です。4年前に大阪府のエコハイスクール事業の認定を受け、昨年7月、磯島・枚方なぎさ高校版 E M S のスタート宣言を行いました。

このスタート宣言では、紙・ゴミ・電気の削減目標を5%に設定し、全クラスへの呼びかけ、宣伝活動を通して、裏紙の使用や古紙回収・昼間教室の電気の一例消灯や廊下の消灯、そしてゴミの分別回収の徹底などで頑張っています。また、環境にやさしい文化祭の取り組みにより、今年の廃棄物は昨年約半分に減少しました。

環境委員会「ゴミ部会」による、ごみの分別回収



### - 磯島高校時代から受け継がれる エコハイスクール精神 -

< 学校長より >

この4月に本校にまいりました。E M S とは、「Environmental Management System」の略であると知りました。本校は磯島高校時代から昨年まで3年間、エコハイスクールとして先進的な取り組みをしてきた実績があります。環境委員会も活動を続けています。枚方なぎさ高校は、枚方の環境を良くするために頑張ります。



### 生徒会環境委員会による取り組み

枚方なぎさ高校では各クラス男女1名ずつ環境委員を選出しています。環境委員会は、水部会(天の川、淀川、黒田川と家庭の水の水質検査)、ゴミ部会(燃えるゴミ、カン、ペットボトルの分別回収とゴミの計量)、緑化部会(畑の耕作、花の栽培)の三部会に分かれて活動しています。

### 編集後記

一羽の子ガラスが多くの人の心をつなぎ、たくさんのプレゼントを残してサプリ村野から巣立っていきました。これまであまりお話したことがなかった人、警備やお掃除の人、たくさんの方々が毎日、子ガラスを中心に笑顔で会話をします。尊敬する方々との出会いもありました。「近いけれど遠い」・・・近年、人間が頑張ってもなかなかうめられない距離を、たった一羽の子ガラスが簡単にうめてくれました。事務局で仕事をさせていただくようになってから半年。私も皆様の心をつなぎ、想いのこもった活動に結びつくような場作りをしていきたい、そう思う今日この頃です。(米谷 記)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第11号

平成18年10月1日発行(年4回発行)

発行:(特活)ひらかた環境ネットワーク会議  
 〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

F A X 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者: 谷崎 利男

編集責任者: 谷崎 利男

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。

